

**障がいのある学童の
保護者の就学、進路についての意識調査
報告書**

平成 27 年 3 月

豊田市こども発達センター

内容

はじめに	1
進路についてのアンケート結果	2
回答について	2
今の所属を選択した理由	4
今の所属を選択するにあたって意見を参考にした人	5
今の所属での当初の目的の達成状況について	6
今の所属の良かったところについて	6
今の所属の気になるところについて	7
次の進路について	7
次の進路の選択理由	9
次の進路の決定にあたって参考にした人	11
その他進路について気になっているところ	12
参考資料 1 アンケート項目	14
参考資料 2 障がいのある学童の保護者の就学、進路についての意識調査実施メンバー	19

はじめに

日ごろは豊田市こども発達センターの業務にご理解とご協力をいただきありがとうございます。特別支援教育が開始されて7年が経過し、また、学校教育法などの改正もなされ、障がいのある子をめぐる社会状況も大きく変化しております。豊田市こども発達センターでは、学校及び保護者への支援の充実を目的に、障がいのある学齢児を育ててみえる保護者に対してのアンケート調査を実施いたしました。結果について取りまとめましたのでご報告させていただきます。

アンケートの対象は、豊田市在住の障がいのある学齢児を育てている保護者で小2、小6、中3の3つの学年の保護者といたしました。これら3つの学年を対象としたしたのは、小2については入学後ある程度時間が経過しており、学校の状況と子どもの状況についての情報を保護者がつかんできている時期にあたる、また小6、中3については学校の状況に加えて、進路の選択の時期であり、次の進路を考えている時期と考えたためです。

対象とする保護者につきましては、保護者から学校に障がいの情報が伝えられており、学校が障がいについて把握している方のみを対象としました。アンケートの実施にあたりまして、豊田市教育委員会学校教育課、パークとよた及び豊田市内の小中学校、豊田養護学校、三好特別支援学校に配布、回収のご協力いただきました。アンケートの内容につきましては、参考資料1として添付させていただきました。

今回のアンケートの結果を踏まえ、センターでのお子さん、保護者の方、関係機関への支援を充実させていくとともに、関係機関にご報告させていただくことで、支援の参考にしていただければ幸いです。

平成27年3月

豊田市こども発達センター長

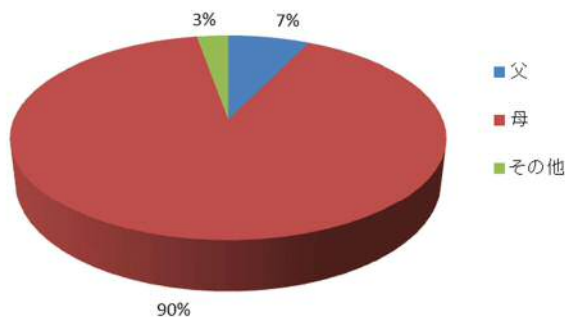
進路についてのアンケート結果

回答について

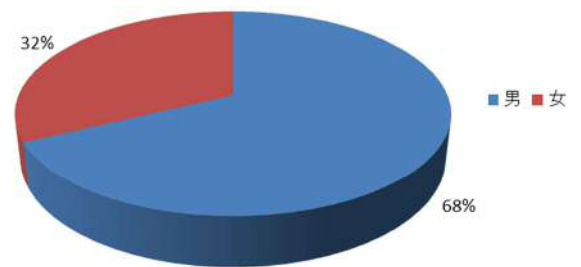
豊田市内の小学校 44 校、中学校 21 校、豊田養護学校、三好特別支援学校から回答をいただきました。回答していただいた方は合計 180 名で、学年別の内訳では、小 2 が 62 名、小 6 が 59 名、中 3 が 59 名となります。お子さんの所属は通常学級 31 名、特別支援学級 109 名、特別支援学校 40 名でした。記入者の内訳は母親が 162 名で最も多く、次いで父親の 13 名でその他は 5 名でした。その他は祖母、施設職員などでした。お子さんの性別については男児 122 名、女児 58 名でした。障がいについての手帳は 130 名が何らかの手帳を所持しているとの回答で、身体障がい者手帳 29 名、療育手帳 122 名、精神障がい者手帳 3 名の所持でした(重複して所持しているお子さんがあり、所持している方の合計は 130 名を超えます)。

お子さんの障がいの種類については、自閉症のお子さんを高機能、知的障がいのある合わせる方を合せると約半数(92 名)となり、次いで知的障がい、肢体不自由、ダウン症という順になりました。

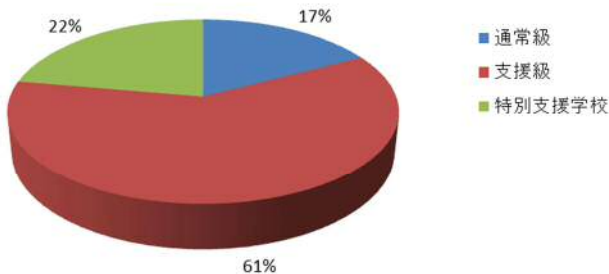
記入者の内訳(全体 180名)



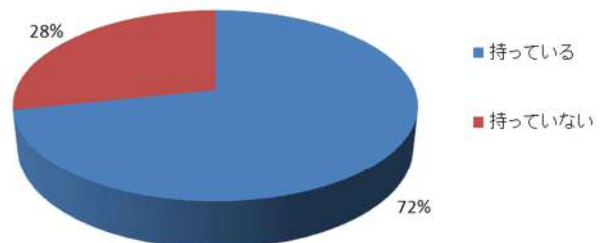
お子さんの性別(全体 180名)



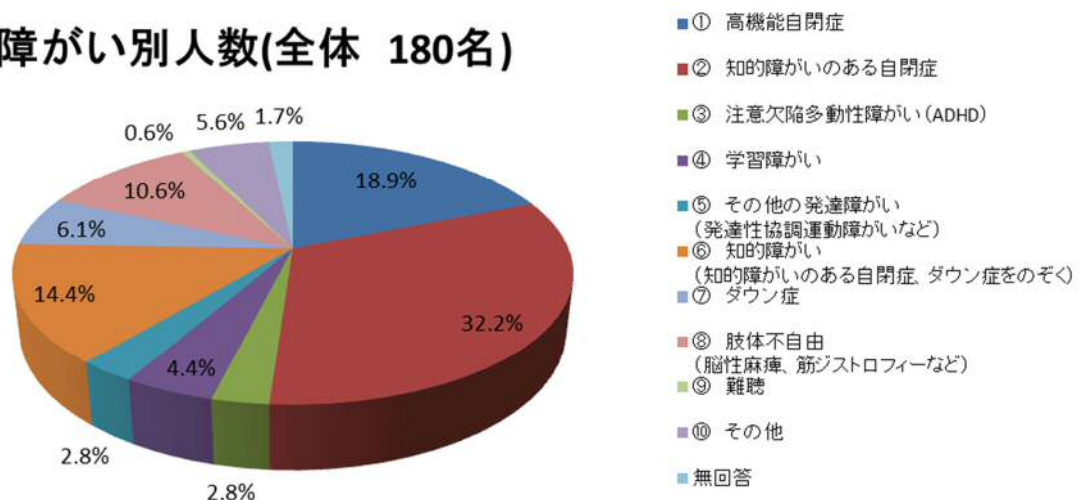
所属(全体 180名)



手帳所持状況(全体 180名)

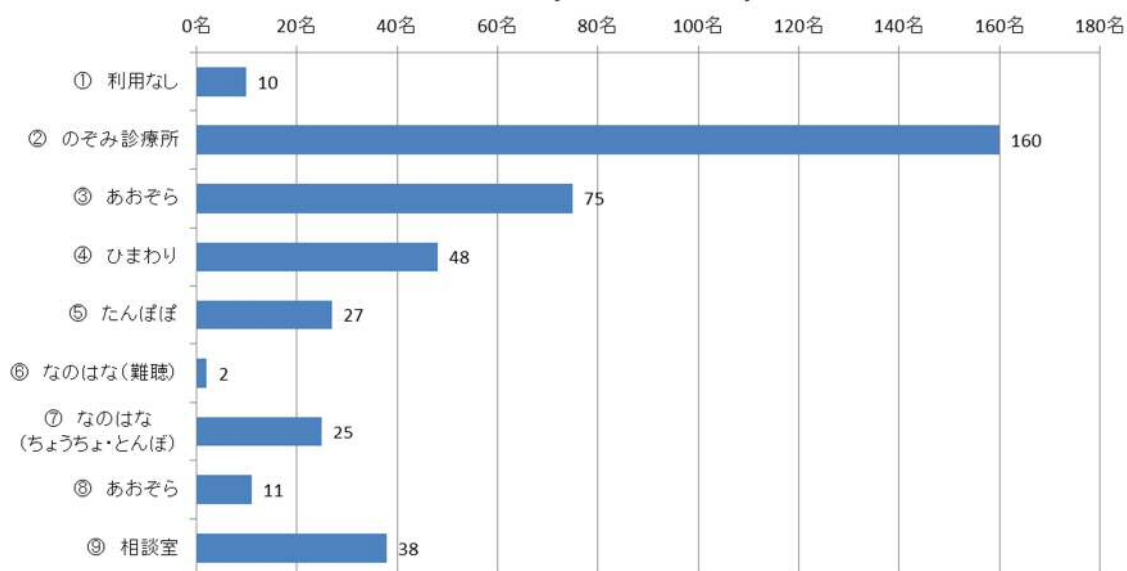


障がい別人数(全体 180名)

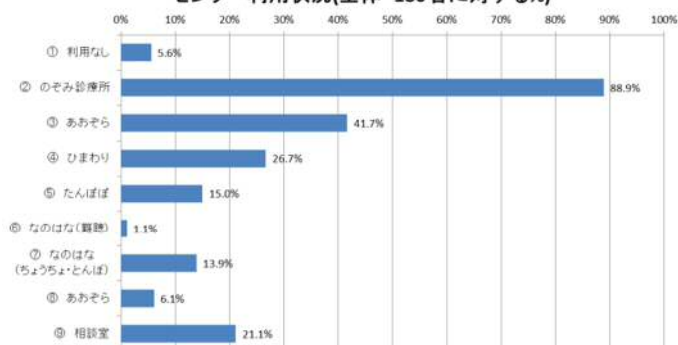


以前のことであり、正確に覚えていない方もおられるかもしれませんが、今までのセンターの利用状況を確認すると、のぞみ診療所を利用している（していた）が最も多く、次いであおぞら、ひまわり、相談室となりました。センターの利用なしと回答された方も10名おいででした。学年別に見ると、のぞみ診療所はどの学年でも8割から9割のお子さんで利用されています。あおぞら、ひまわり、相談室は学年が小さくなるにつれて利用されている方の比率が高くなりました。

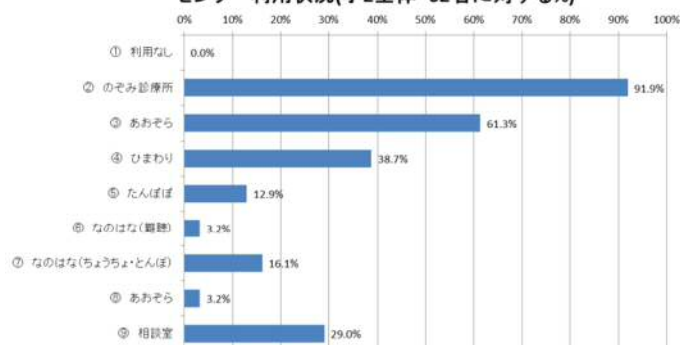
センター利用状況(全体 180名)



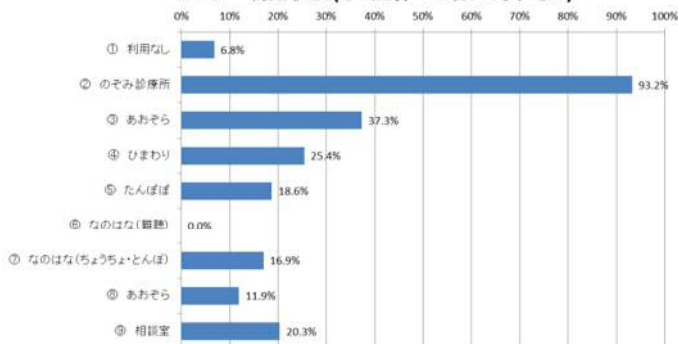
センター利用状況(全体 180名に対する%)



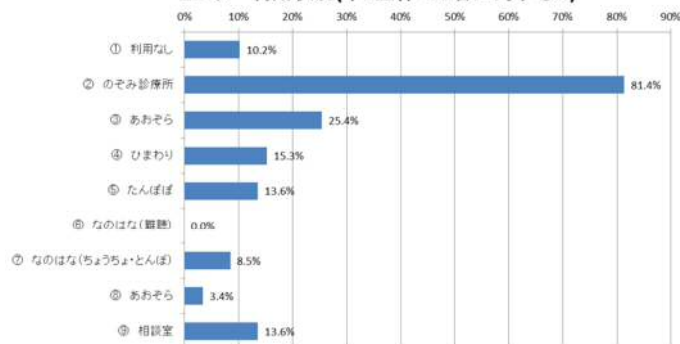
センター利用状況(小2全体 62名に対する%)



センター利用状況(小6全体 59名に対する%)



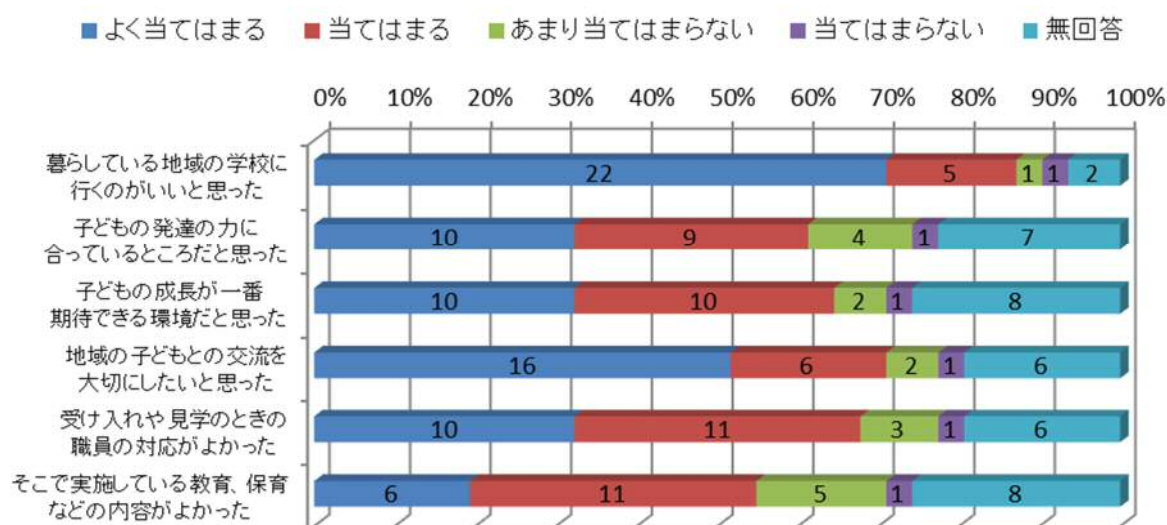
センター利用状況(中3全体 59名に対する%)



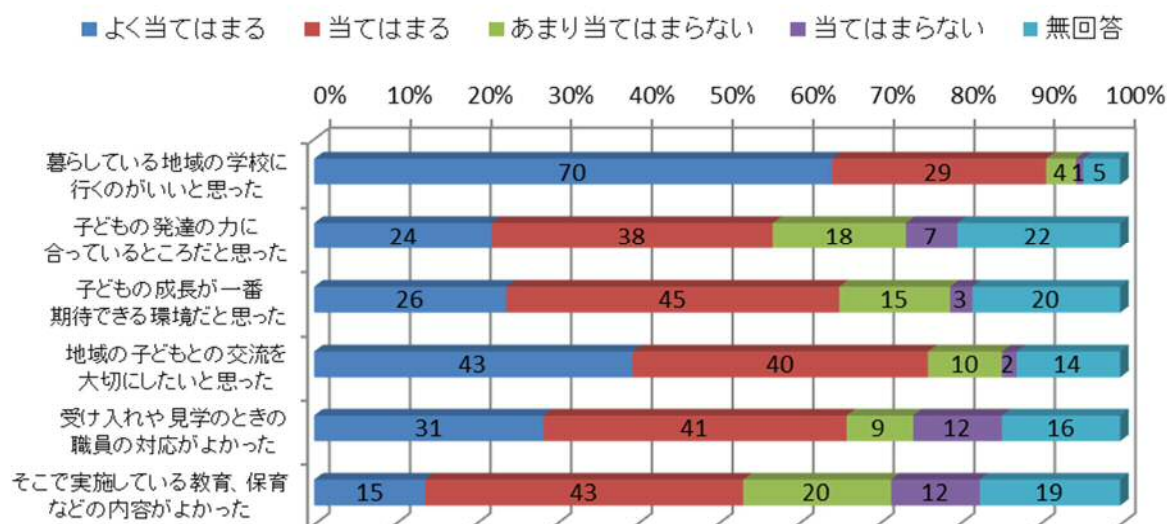
今の所属を選択した理由

学年を問わず、通常学級、特別支援学級では「暮らしている地域の学校に行くの良かった」という項目で「非常に当てはまる」という回答が一番多くなりましたが、その他の選択理由も「当てはまる」という回答まで含めると、ほとんどの理由で半数以上が該当となりました。通常学級、特別支援学級では「そこで実施している教育、保育などの内容がよかった」という選択理由は半数前後ですが、特別支援学校では2/3程度になります。特別支援学校では「子どもの発達のに合っているところだと思った」「子どもの成長が一番期待できる環境だと思った」という項目が一番多くなることも合わせて考えると、特別支援学校では特に専門性に期待されていることが伺えます。

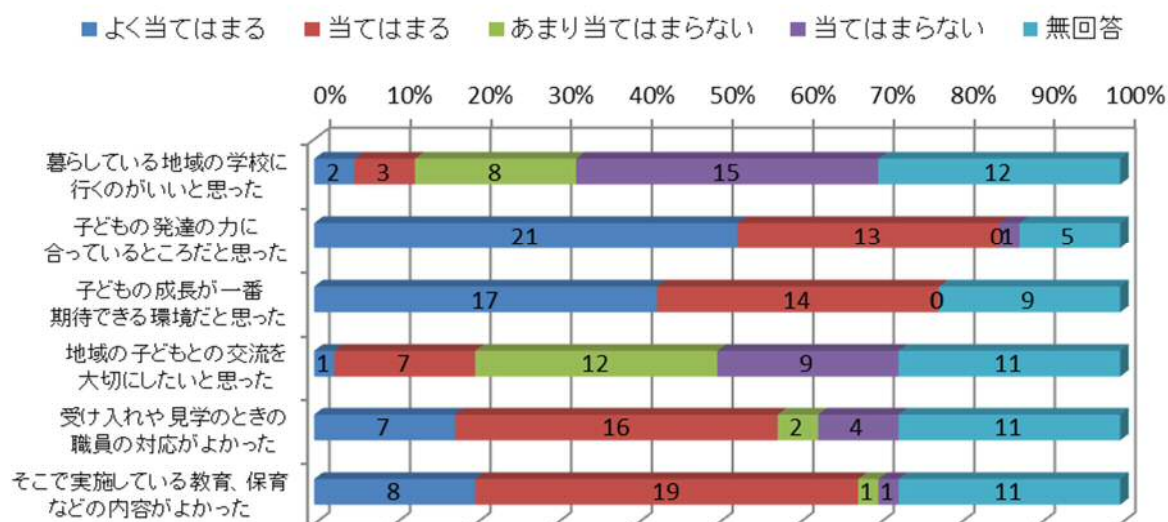
選択理由(通常学級全体 31名)



選択理由(特別支援学級全体 109名)



選択理由(特別支援学校全体 40名)

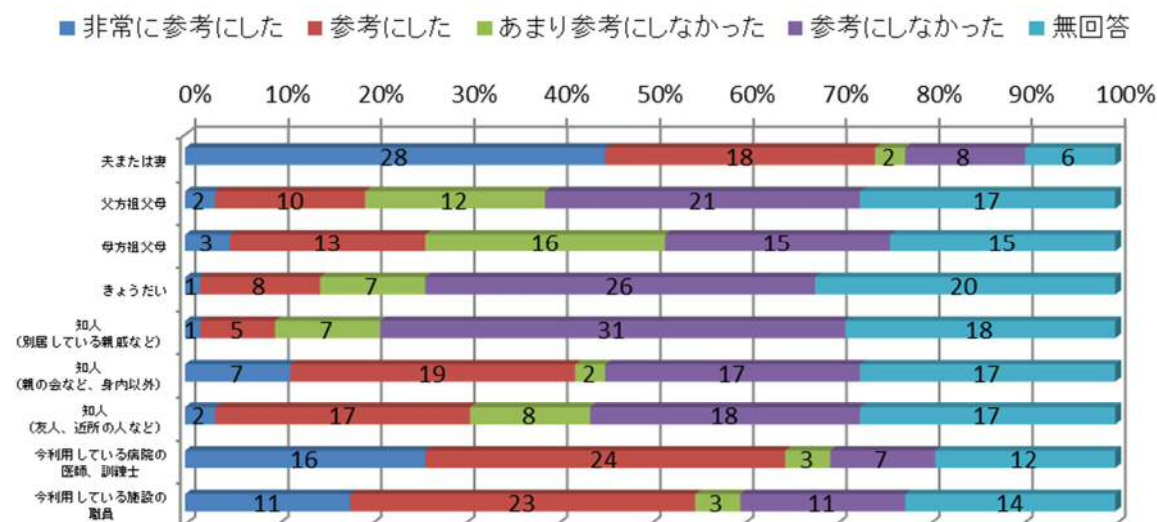


今の所属を選択するにあたって意見を参考にした人

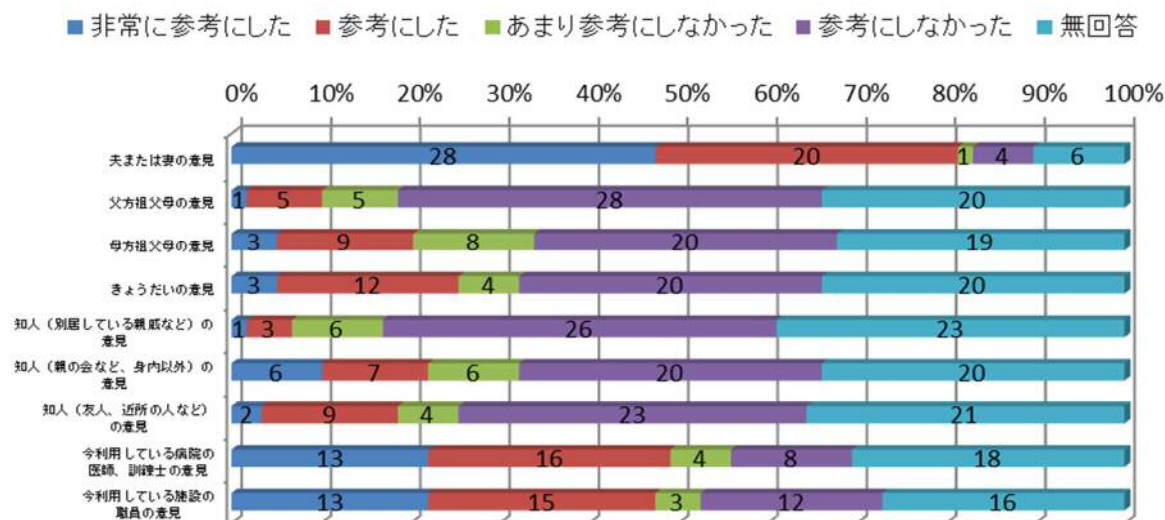
参考にした人としては、各学年とも配偶者の意見を参考にしていているという答えが最も多くなりました。小2と比べると、小6、中3では無回答も多くなっていました。

その他に参考とした人については、小2、小6ではこども園の先生(記入のあった22名中7名)、中3では小学校の先生(記入のあった12名中8名)をあげられていました。また、中学では「本人」という回答もありました(記入のあった12名中3名)。

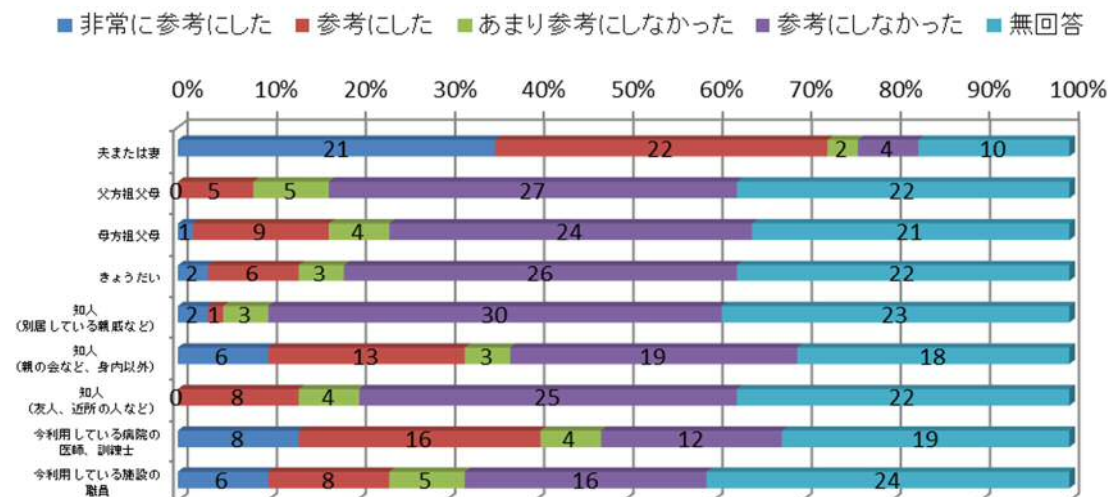
参考にした人(小2全体 62名)



参考にした人(小6全体 59名)



選択理由(中3全体 59名)



今の所属での当初の目的の達成状況について

全体で 108 名の方から回答がありました。内容は「達成できている」という主旨の回答が多く(72 名、66%)ありました。「わからない」「まだ途中」といった内容が 14 名(15%)、「達成されていない」という内容が 18 名(19%)でした。学年別でみると小 2 で「達成できている」という主旨の回答が 42 名中 24 名(57%)、小 6 では 33 名中 24 名(72%)、中 3 では 33 名中 24 名(72%)でした。

今の所属の良かったところについて

全体で 133 名の方から回答がありました。ほぼ全員の方が子どもを理解してくれて、子どもに合わせた対応をしてくれるといった学校の対応をあげておいででした(122 名)。支援級では周囲の子どもの理解あげられるかたがついで多く見えました(19 名)。支援級の場合は少人数での指導を言われる方も多くいらっしゃいました(5 名)。支援校では生活面のことをきちんと教えてくれる、進路についての指導がしっかりしているなどのカリキュラム面の充実をあげられていました(5 名)。

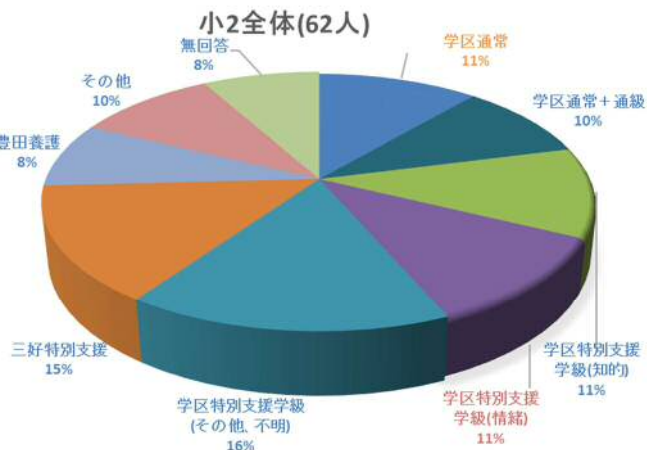
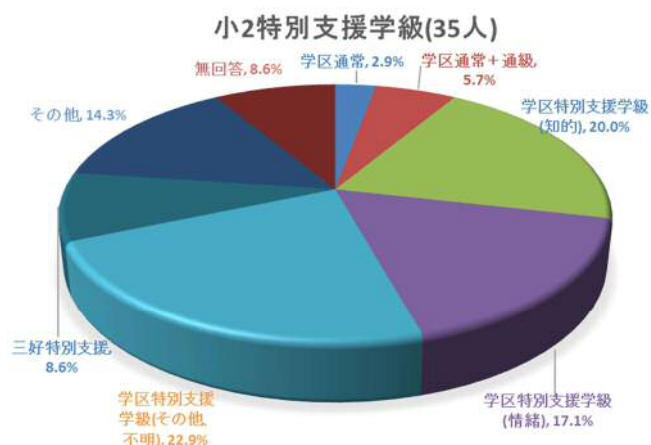
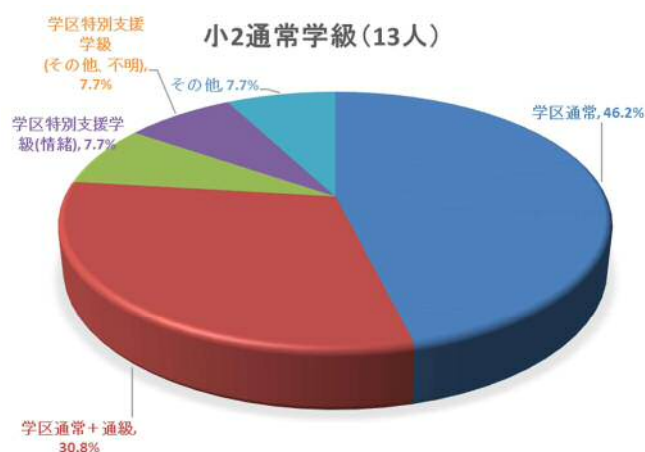
今の所属の気になるところについて

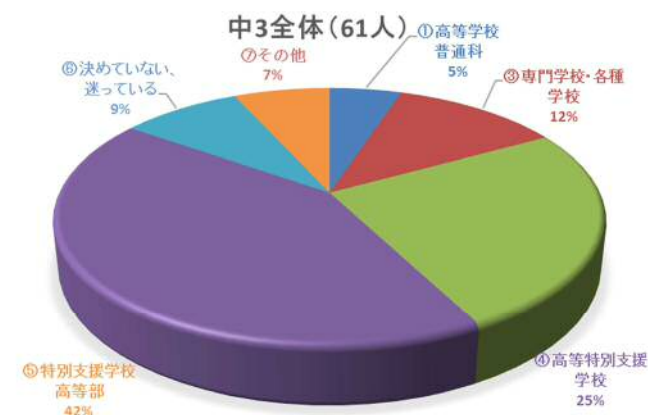
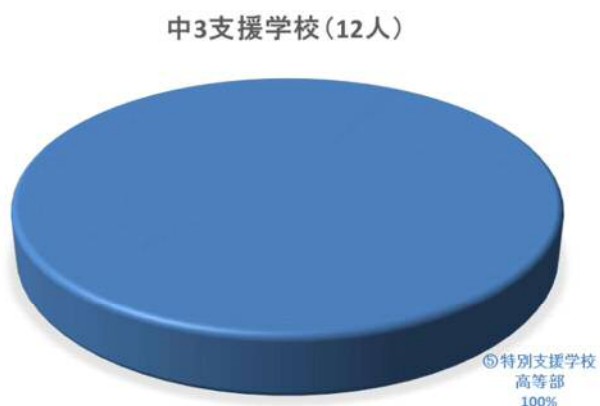
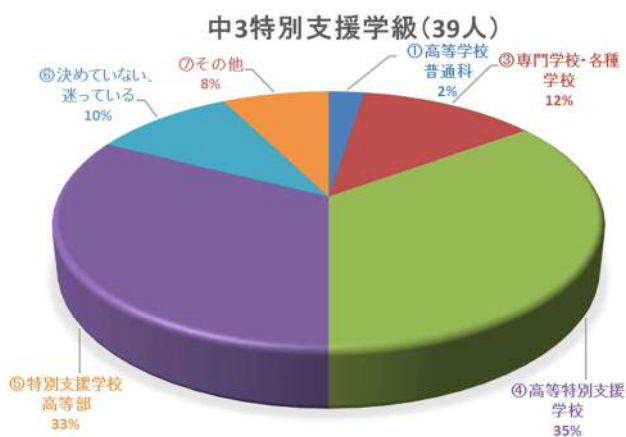
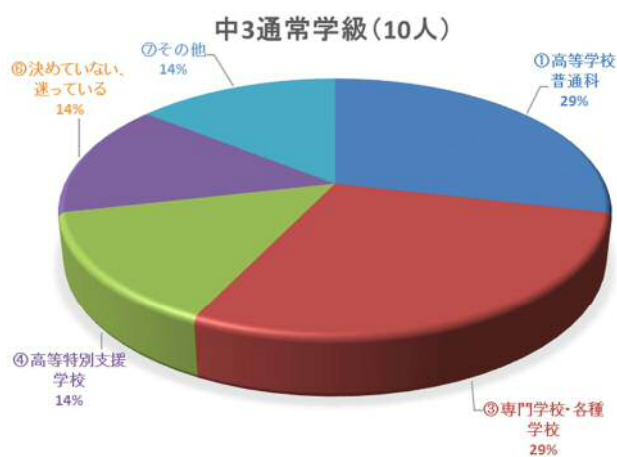
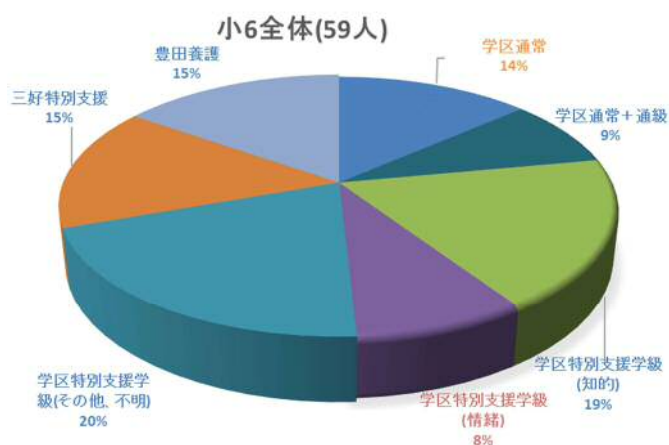
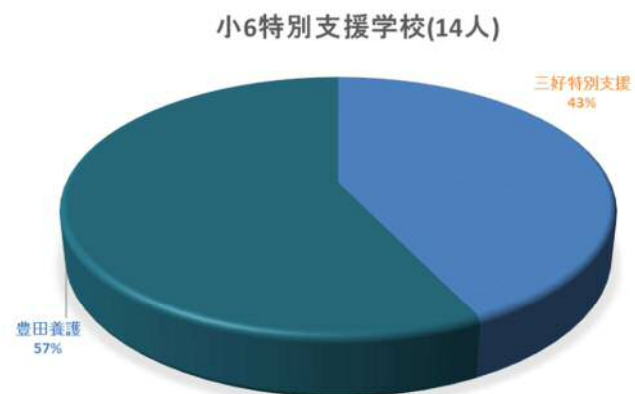
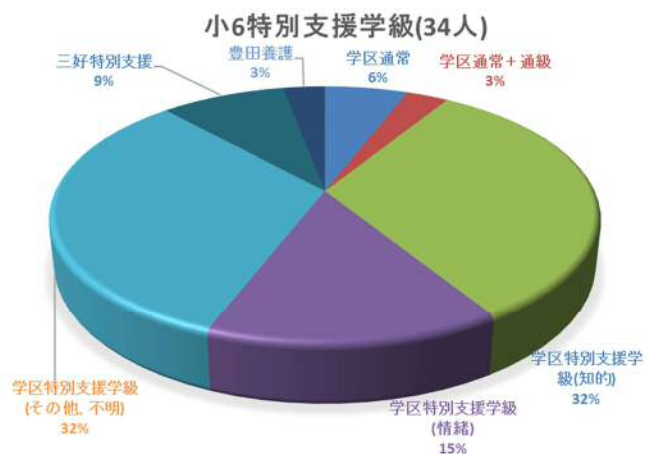
全体で 74 名の方から回答をいただきました。先生の交代が不安、熱心にやってくれるのだが専門知識が少ない、担任以外の先生の理解が弱い、などの先生についての意見が多くありました。

次の進路について

次の進路についてお聞きすると、小 6 のお子さんでは、次の進路として特別支援学級を希望される方が多くなっている傾向がありました(小 2 全体では 38%、小 6 全体では 47%)。小 2 で「その他」に記入が合った方の回答内容は「わからない」「子どもが決める」というものでした。

中 3 では、特別支援学校に在籍の方の保護者はすべて特別支援学校の高等部を希望されていました。特別支援学級でもおよそ 2/3(68%)の方が特別支援学校(高等部、高等特別支援学校)を希望されていました。小学生よりも、特別支援学級を希望される方が多くなっています。その他では職業訓練校や専修学校を希望されているという回答の方でした。

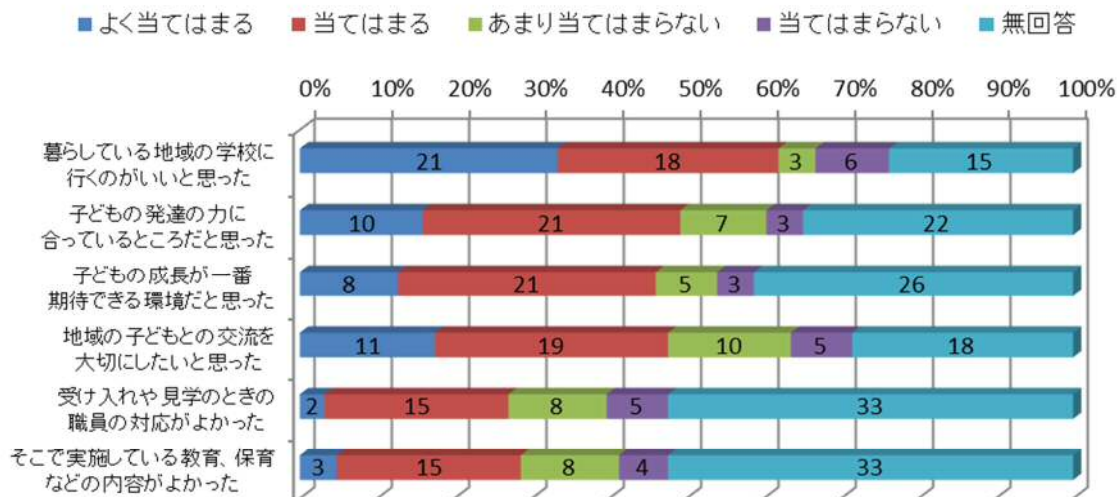




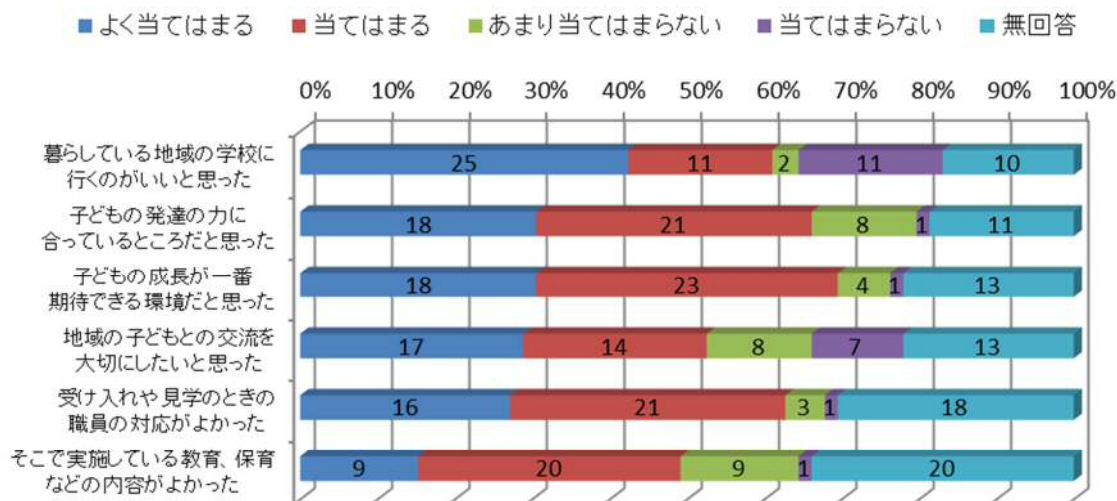
次の進路の選択理由

小6と中3で、「子どもの発達に合っている」「子どもの成長が期待できる」という子どもの要因を上げる方が多くなっています。また、特別支援学級、特別支援学校で見ても同じような結果が得られました。子どもの年齢が上がるにつれて、子どもがよく伸びる環境かどうかということが進路選択の要素になっていくことが伺えました。

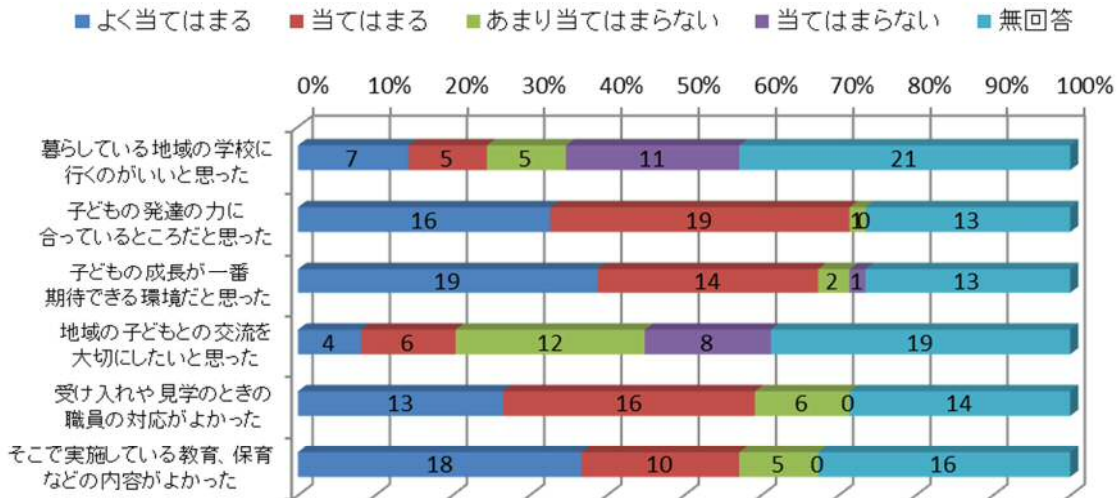
選択理由(小2全体 63名)



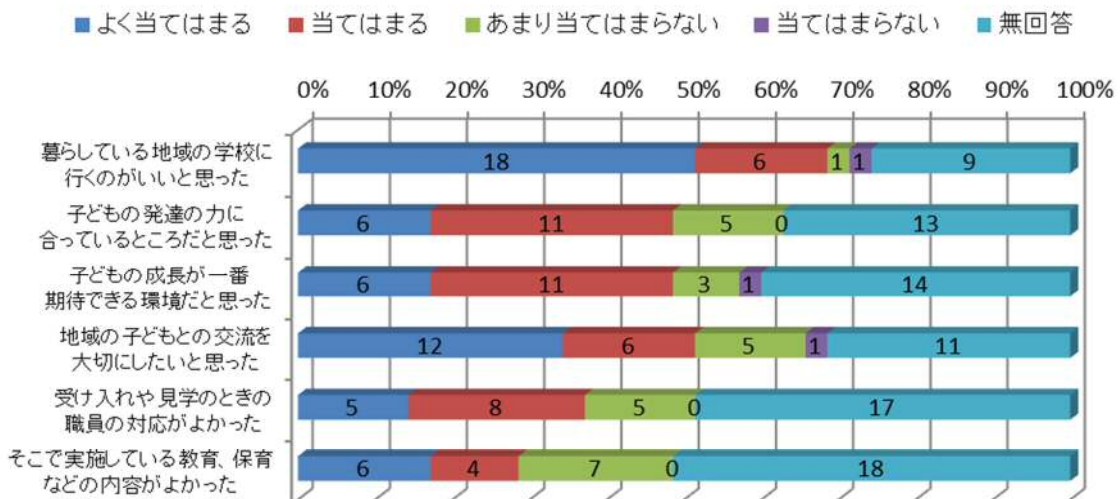
選択理由(小6全体 59名)



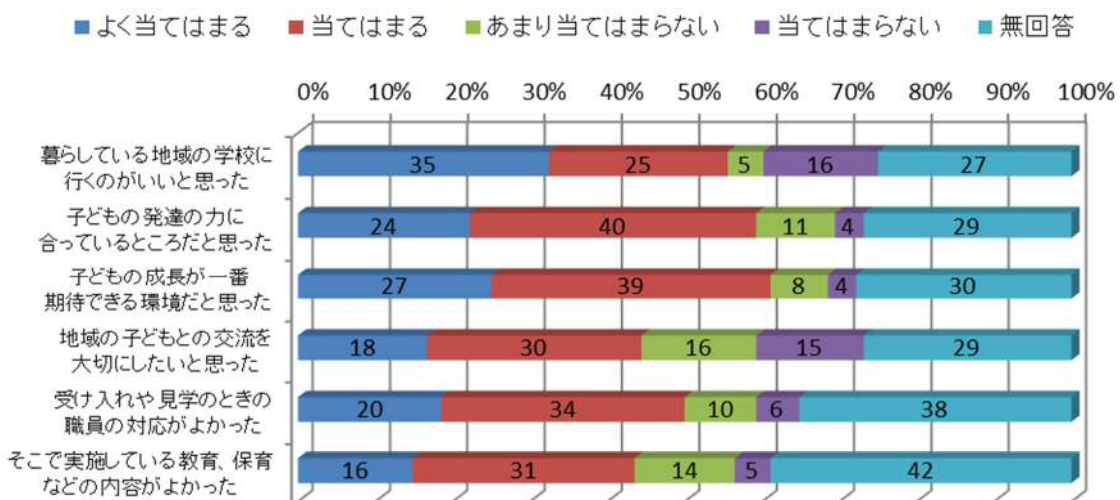
選択理由(中3全体 61名)



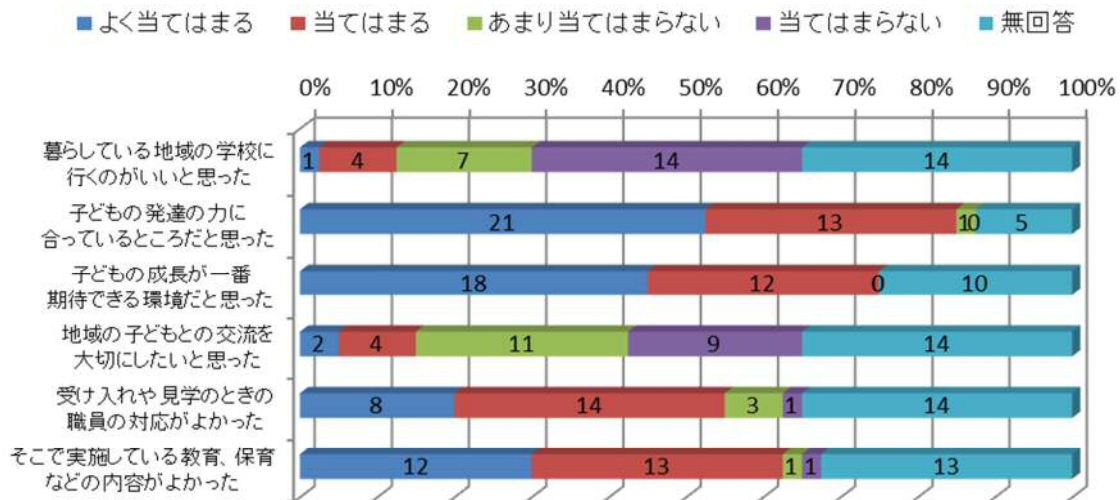
選択理由(通常学級全体 35名)



選択理由(特別支援学級全体 108名)



選択理由(特別支援学校全体 40名)



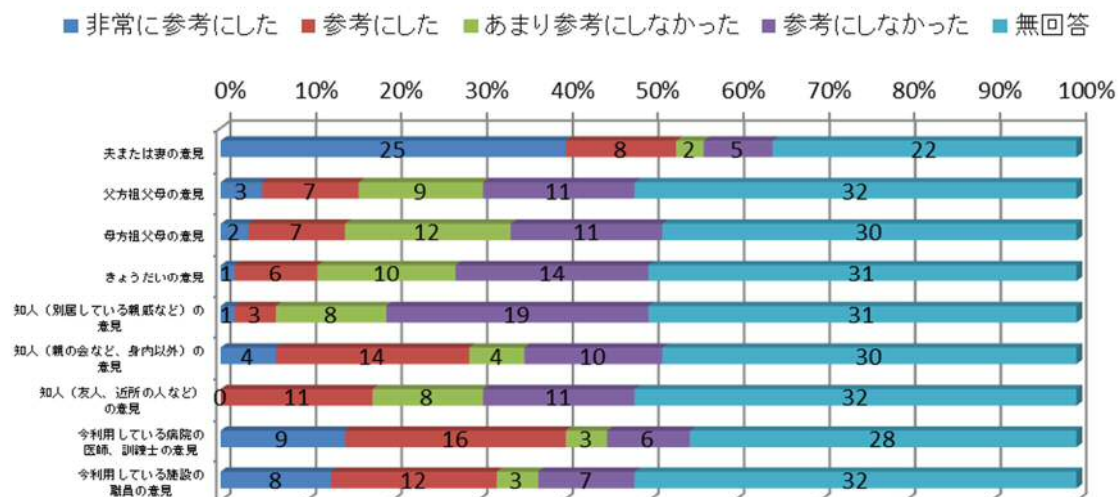
選択理由のその他として46名の方の記入があり、「他になかった」(9名)という回答でした。これはすべて支援級、支援校の方でした(37名中9名)。その他の理由として「通学に都合が良い」などさまざまなものがありました。小2の保護者では17名で記入がありましたが、うち9名は「わからない、決めていない」という回答で、年齢が低いためにまだイメージがつかみにくいようでした。

次の進路の決定にあたって参考にした人

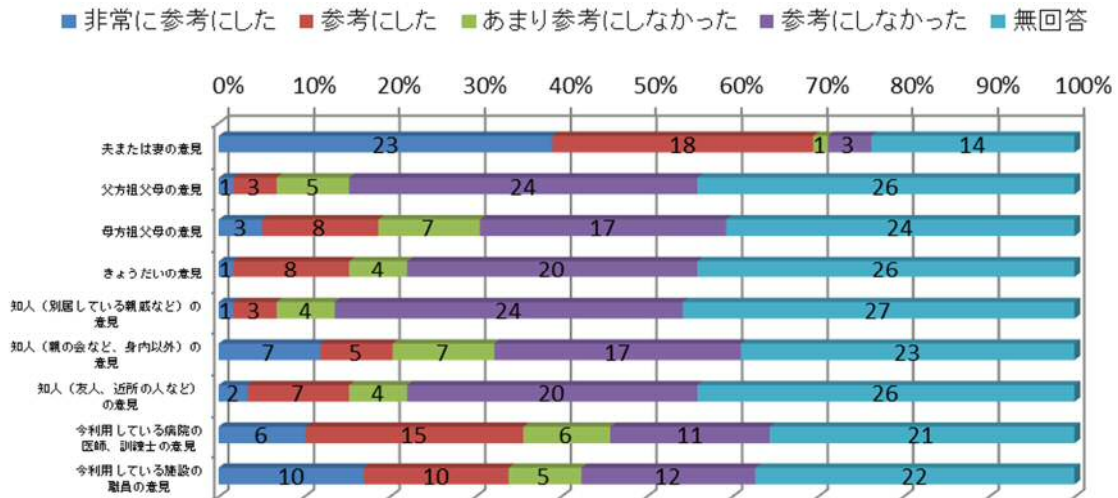
「夫または妻」という配偶者の意見を参考にしているという方が50~70%程度で、「今利用している病院の医師、訓練士」の意見も50%前後の方が参考にされていました。

その他には30名の方が記入ありました。そのうち28名が小6と中3の保護者の方で、その中で11名が「本人」をあげておられました。

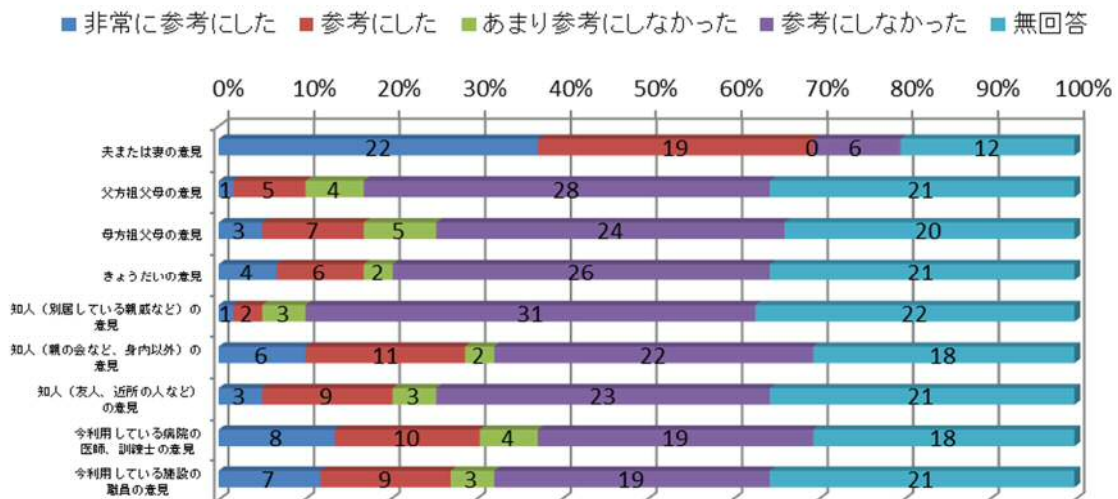
参考にした人(小2全体 63名)



参考にした人(小6全体 59名)



選択理由(中3全体 59名)



その他進路について気になっているところ

53 名の方の記入がありました。高校進学、就労など中卒後の進路についての不安を書かれているかたが 22 名で一番多くおられました。小 2 の保護者では 16 名の方が記入がありましたが、うち 4 名が中卒後の進路の不安を書かれていました。また、情報の不足についても記入がありました。小 6 で記入のあった 22 名のうち 10 名が中卒後の進路についての不安を書かれており、このあたりで義務教育終了後の進路の問題を具体的に考えるようになるのだと思います。中 3 の保護者で記入のあった 15 名のうち 5 名の方が中卒後の不安を書かれていましたが、一方でこれまでの経過からの思いもあるのか、選択肢の少なさや、障がいのある子の就学、進学システムについての意見を書かれる方もおられました。

まとめ

学校の選択に当たっては子どもの発達を中心に考えて、地域や他の子との関係を考えると学区校を選択し、子どもに合った環境を重視すると特別支援学校を選択されていました。いずれを選択した場合も、保護者としては子どもの伸ばしていきたいという気持ちからの選択であり、その点を共有していくことで、保護者、学校、関係機関が連携していくことが重要だと感じました。

回答をいただいた保護者の方はいずれの学校を選択するにしても、学校での目的は達成されたと考える保護者が多く、学校対応についても肯定的な意見が多くありました。一方で気になる点についての指摘も多くあり、今回のまとめを関係機関に配布することで、参考にしていただけらと思います。

今回の調査に回答をいただいた保護者がある程度協力的で肯定的な意見を持たれている方が多いことも考えられます。一部の厳しい意見の方もることから、保護者の意識については引き続き確認していき、お子さんの教育環境がより望ましいものに改善していくことの重要性を再確認できました。移行期支援についてはセンターでも今後取り組んでいく課題であり、センターと関係機関が協力して努力していくことが必要であると改めて実感できました。

学校、学年で内容が異なる項目は説明を()に斜体で併記しました。

(中学生に対しては(中学生用)としてあります)

- ① 父親 ② 母親 ③ その他()

- 学年：小学 年 性别：男 · 女

(中学生に対しては「中学3年」としてあります)

- ⑩ その他()

①持っている ②持っていない

③ 精神保健福祉手帳 (級)

⑦ なのはな(ちょうちょ・とんぼ) ⑧ あおぞら ⑨ 相談室

1 小(中学校)について

- ・ 今の所属について該当するところに○をおつけ下さい。

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| ① 学区校通常学級 | ⑦ 学区校以外の通常学級 |
| ② 学区校通常学級で通級指導を合わせて利用する | ⑧ 学区校以外の通常学級で通級指導を合わせて利用する |
| ③ 学区校知的障がい児学級（特別支援学級） | ⑨ 学区校以外の知的障がい児学級（特別支援学級） |
| ④ 学区校情緒障がい児学級（特別支援学級） | ⑩ 学区校以外の情緒障がい児学級（特別支援学級） |
| ⑤ 学区校難聴学級（特別支援学級） | ⑪ 学区校以外の難聴学級（特別支援学級） |
| ⑥ 学区校特別支援学級（その他、あるいはわからない） | ⑫ 学区校以外の特別支援学級（その他、あるいはわからない） |
| | ⑬ その他（ ） |

（特別支援学校には、「三好特別支援学校」、「豊田養護学校」の2項目となったものを使用しています）

- ・ 今の学校を選ばれた理由について以下の項目で当てはまるところに○をおつけ下さい。

	まる	よく当てはまる	当てはまる	あまり当てはまらない	ない	当てはまらない
暮らしている地域の学校に行くのがいいと思った						
子どもの発達に合っているところだと思った						
子どもの成長が一番期待できる環境だと思った						
地域の子どもとの交流を大切にしたいと思った						
受け入れや見学のときの学校の先生の対応がよかった						
そこで実施している教育の内容がよかった						

- ・ その他の理由があればご記入ください。

- ・ 進路を決定するにあたっては、どういった方の意見を参考にされましたか。以下の項目のうち当てはまるところに○をおつけ下さい。

	非常に参考にした	参考にした	あまり参考にしなかった	参考にしなかった
夫または妻の意見				
父方祖父母の意見				
母方祖父母の意見				
きょうだいの意見				
知人(別居している親戚などの身内)の意見				
知人(親の会など、身内以外で障がいのある方と暮らしている方)の意見				
知人(友人、近所の人など)の意見				
今利用している病院の医師、訓練士の意見				
今利用している施設の職員の意見				

- ・ その他にも意見を参考にされた方がお見えでしたら、以下にご記入ください。

- ・ 今の学校についてよかった点をお書きください。

- ・ 最初に進路を決められたときの目的は達成されましたか。

- ・ 今の学校で気になっていることをお書きください。

2 中学校について

・ 中学校についてはどこへの進学を希望されますか。

- | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| ① 学区校通常学級 | ② 学区校通常学級で通級指導を
合わせて利用する | |
| ③ 学区校知的障がい学級
(特別支援学級) | ④ 学区校情緒障がい・自閉症学級
(特別支援学級) | ⑤ 学区校難聴学級(特別支援学級) |
| ⑥ 学区校特別支援学級
(その他、あるいはわからない) | ⑦ 学区校以外の知的障がい学級
(特別支援学級) | ⑧ 学区校以外の情緒障がい・
自閉症学級(特別支援学級) |
| ⑨ 学区校以外の難聴学級 | ⑩ 学区校以外の特別支援学級
(その他、あるいはわからない) | ⑪ 愛知県立三好特別支援学校 |
| ⑫ 豊田市立豊田養護学校 | ⑫ その他の特別支援学校
(学校名: _____) | ⑬ その他
(_____) |

(中学生用ではこの項目は以下のようにになっています)

2 次の進路について

・ 中学校卒業後の進路についてはどういったところをお考えですか。

- | | | |
|---------------|---------------------------------------|----------------|
| ④ 高等学校普通科 | ⑤ 高等学校職業学科(工業高校、
農業高校等) | |
| ⑥ 専門学校・各種学校 | よろしければどういった内容の学校かをご記入ください:
(_____) | |
| ⑦ 高等特別支援学校 | ⑧ 特別支援学校高等部 | ⑨ 決めていない、迷っている |
| ⑩ その他 (_____) | | |

(以下は小学校、中学校共通です)

・ その進路をお考えの理由について以下の項目で当てはまるところに○をおつけ下さい。

	ま る よく 当て は ま る	当 て は ま る	は ま ら な い	あ ま り 当 て な い	当 て は ま ら な い
暮らしている地域の学校に行くのがいいと思った					
子どもの発達に合っているところだと思った					
子どもの成長が一番期待できる環境だと思った					
地域の子どもの交流を大切にしたいと思った					
受け入れや見学のときの学校の先生の対応がよかった					
そこで実施している教育の内容がよかった					

・ その他の理由があればご記入ください。

- ・ 進路を決定するにあたっては、どういった方の意見を参考にされましたか。以下の項目のうち当てはまるところに○をおつけ下さい。

	非常に参考にした	参考にした	あまり参考にしなかった	参考にしなかった
夫または妻の意見				
父方祖父母の意見				
母方祖父母の意見				
きょうだいの意見				
知人(別居している親戚などの身内)の意見				
知人(親の会など、身内以外で障がいのある方と暮らしている方)の意見				
知人(友人、近所の人など)の意見				
今利用している病院の医師、訓練士の意見				
今利用している施設の職員の意見				

- ・ その他にも意見を参考にされた方がお見えでしたら、以下にご記入ください。

3 その他進路についてお考えのことがありましたがご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

参考資料２ 障がいのある学童の保護者の就学、進路についての意識調査実施メンバー

氏 名	所 属
松浦 利明	豊田市こども発達センター のぞみ診療所 心理言語グループ主任(責任者)
若子 理恵	豊田市こども発達センター のぞみ診療所長
藤村 慶子	豊田市こども発達センター 地域療育室長
神谷 真巳	豊田市こども発達センター 地域療育室 相談支援グループ主任